

## 学習指導要領・単元の目標

- (1) 北海道地方、九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。
- (2) 自然環境を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。
- (3) 北海道地方、九州地方において、自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現する。
- (4) 北海道地方、九州地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。

## 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①北海道地方、九州地方について、その地域の特色や地域の課題を理解している。 ②自然環境を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。	①北海道地方、九州地方において、自然環境の成立の条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。	①北海道地方、九州地方において、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

## 目指す子どもの姿(身に付けさせたい資質・能力)

- 日本にはそれぞれの地域で地域的特色があり、課題も違うことを理解している。
- 地域の特色ある地理的な事象を他の事象と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付けている。

## 子どもの実態・付けたい力・教材観等

この単元に入る前に「中国・四国地方」「北海道地方」の2単元で学びのサイクルを行った。始めは時間内に記入することができなかったり、内容も具体的に記述できなかったりと苦戦する姿が見られたが、徐々に慣れてきた様子である。しかし、子どもによっては内容が不十分であることもあるので、教師側からのサポートを行い、子どもたちが主体的に学べるようにしたい。単元ごとの振り返りは1年生の時から継続してきたので文章で表現する力は付いていると感じる。本教材として取り上げる北海道地方と九州地方は、どちらも「自然環境」を中心として考察する単元である。また、自然環境だけでなく、それ以外の要因(産業、歴史的背景等)も関連して地域的特色を形成していることも理解させたい。

次	1次				2次			3次									
時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9								
学習活動 (学習内容) 一斉/複線	九州地方について資料から基礎的な知識を身に付ける。 自然災害の実情や人々が行う自然災害への対策を理解する。	産業について自然環境と関連させながら特色を理解する。	持続可能な社会を実現するための取組についてまとめる。		<p><b>【パフォーマンス課題】</b></p> <p>あなたは地域おこし協力隊です。様々な地方に行き、地域を活性化させることができます。あるとき、「今は各地方に移住する人が増えている時代です。そこで移住を考えている人のために、その地方に関わる情報提供をしてほしいです。」と依頼が来ました。その依頼には続きがあり、「今回は九州地方か北海道地方のどちらかをお願いします。」と書かれていました。あなたはどちらの地方に就職し、情報発信を行いますか。自然環境(地形・気候)を中心として考えつつ、他の事象(産業など)とも関連付けて、それぞれの地方で想像されるメリット・デメリット両面を含むプレゼンテーションをしましょう!</p>												
子どもの主体性を図る自己調整度合 (課題:課程:形態)	1 : 5 : 2		3 : 8 : 8						3 : 8 : 5								
子どもの姿	1 九州地方の地形や気候を地形図、雨温図などの資料から読み取る。 2 どのような自然災害が起こっていて、自然災害への対策はどのようにされているのか調べる。 3 九州地方の産業について特色を理解する。 4 持続可能な社会を実現するための取組を調べまとめる。	<p>「火山→温泉」のように、この事象があるから、別の事象が発生するのだと、関連付けて考える。</p>						<p>自分が作成したプレゼンテーションをクラスの仲間と発表し合い、交流をする。</p>									
教師の指導・支援・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で使用したスライドはGoogleサイトにPDFで添付し、子どもと共有する。</li> <li>北海道地方、九州地方について、その地域の特色や地域の課題を理解している。[知・技] ①</li> <li>自然環境を中核とした考察の仕方で取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。[知・技] ②</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>パフォーマンス課題を進める上で、手が進んでいない子どもに対しては個別で声掛けをする。</li> <li>北海道地方、九州地方において、自然環境の成立の条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。[思・判・表] ①</li> </ul>						<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">ループリック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td><td> <b>【ヒント】</b>            自然環境(地形・気候)を中心とした考察の仕方を基にして、他の事象と関連させ、それに加えて地方の特色や課題等のメリット・デメリットも踏まえながら考察できる。そしてプレゼンテーションで表現できる。         </td></tr> <tr> <td>B</td><td>           パフォーマンス課題において、北海道地方もしくは九州地方の自然環境(地形・気候)を中心とした考察の仕方を基にして、他の事象(産業、観光、暮らしの工夫など)と関連付けて、多面的・多角的に考察し、プレゼンテーションで表現できる。         </td></tr> <tr> <td>C</td><td> <b>【Cへのサポート】</b>            教科書 p 258~265、p 186~193を読み、自然環境を中心として考察し、地方の地形や気候、観光、自然災害等の情報提供を行うことができる。         </td></tr> </tbody> </table> <p>・パフォーマンス課題とループリック評価を一体化的に考え、付けたい力に向かっているか教師側からのフィードバックを適宜行う。</p> <p>○北海道地方、九州地方において、自然環境の成立の条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。[思・判・表] ①</p> <p>○積極的に課題について考え、追究しようとしている。[主体性] ①</p>	ループリック		A	<b>【ヒント】</b> 自然環境(地形・気候)を中心とした考察の仕方を基にして、他の事象と関連させ、それに加えて地方の特色や課題等のメリット・デメリットも踏まえながら考察できる。そしてプレゼンテーションで表現できる。	B	パフォーマンス課題において、北海道地方もしくは九州地方の自然環境(地形・気候)を中心とした考察の仕方を基にして、他の事象(産業、観光、暮らしの工夫など)と関連付けて、多面的・多角的に考察し、プレゼンテーションで表現できる。	C	<b>【Cへのサポート】</b> 教科書 p 258~265、p 186~193を読み、自然環境を中心として考察し、地方の地形や気候、観光、自然災害等の情報提供を行うことができる。
ループリック																	
A	<b>【ヒント】</b> 自然環境(地形・気候)を中心とした考察の仕方を基にして、他の事象と関連させ、それに加えて地方の特色や課題等のメリット・デメリットも踏まえながら考察できる。そしてプレゼンテーションで表現できる。																
B	パフォーマンス課題において、北海道地方もしくは九州地方の自然環境(地形・気候)を中心とした考察の仕方を基にして、他の事象(産業、観光、暮らしの工夫など)と関連付けて、多面的・多角的に考察し、プレゼンテーションで表現できる。																
C	<b>【Cへのサポート】</b> 教科書 p 258~265、p 186~193を読み、自然環境を中心として考察し、地方の地形や気候、観光、自然災害等の情報提供を行うことができる。																

※「時間」の●は、授業実践を行った時間を表す。